

校訓 自主・責任・明朗

小中一貫教育目標（学校教育目標）

自ら学ぶ子

重点目標 自ら学び 語り合う

良さを認め、支え合う  
仲間づくり

- ・相手を認め、自分たちで主体的に考え、語り、自己決定できる生徒

「深い学び」を目指す  
授業づくり

- ・生徒の課題設定力が高まり、自分の考えを多様な手段で表現できる生徒

自ら鍛える心と体の  
安全・健康づくり

- ・自他の存在・安心や人権を大切に、夢や希望に向かって主体的に行動できる生徒

キーワード 『子供理解』に基づく

「居場所づくり・絆づくり・自己決定・安全安心」  
「気づき、考え、実行する。」（JRC）

目標数値

【富士市子どもの権利条例】  
【こども基本法】の理解と実践

- ◇進んであいさつができる 83%
- ◇学校生活が楽しい 90%
- ◇思いやりを持って接する 95%
- ◇相談できる仲間がいる 85%

【資質・能力】が身に付く【個別最適・協働的な学び】の授業実践

- ◇自分の思いや考えを伝える 80%
- ◇人の話をしっかり聴く 95%
- ◇授業は楽しく、分かりやすい 93%
- ◇タブレットは学習に役立つ 95%
- ◇道徳は気づきや学びがある 90%

【自己指導能力・非認知能力】  
が身に付く授業・活動実践

- ◇将来の夢・希望を持っている 75%
- ◇自分の役割を果たしている 90%
- ◇命を守る適切な行動ができる 85%
- ◇まじめに清掃に取り組む 95%

学校経営目標

- 「資質・能力」が身に付く「個別最適な学び・協働的な学び」の授業実践
- 「こども基本法」「富士市子どもの権利条例」の理解と実践
- 「自己指導能力・非認知能力」が身に付く授業実践・活動実践
- 生徒が語り、活躍する姿を通して、保護者・地域から信頼される学校
- 専門性を高める学び合う職場づくりと働き方改革の推進

生徒が語り、活躍する姿を通して、保護者・地域から信頼される学校

- ◇保護者や地域(学校運営協議会)と定期的に情報交換をする 100%
- ◇保護者・地域に学校の様子を発信する 100%
- ◇小中一貫教育の実践 90%
- ◇小中一貫教育の推進は生徒にとってよい効果が表れる 90%

専門性を高める学び合う職場づくりと働き方改革の推進

- ◇時間外在校等時間：月45時間以下 100%
- ◇時間外在校等時間：年平均30時間以下 60%
- ◇年次有給休暇：年間10日以上取得 100%
- ◇ストレスチェック：高ストレス者 10%（以下）
- ◇人権意識を持って誰とでも接する 100%
- ◇業務改善を効率的に進める 80%